

経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県 関ヶ原町

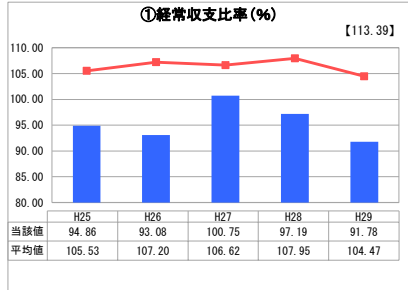
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	66.95	87.37	3,450	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,244	49.28	147.00
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
6,276	12.00	523.00

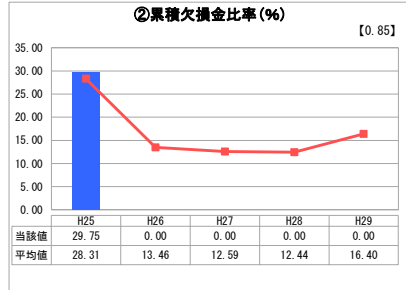
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

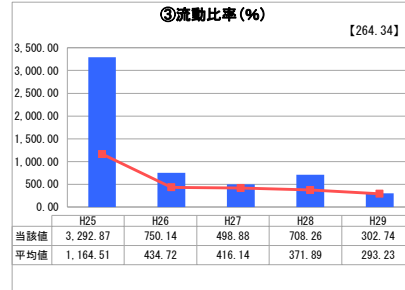
1. 経営の健全性・効率性



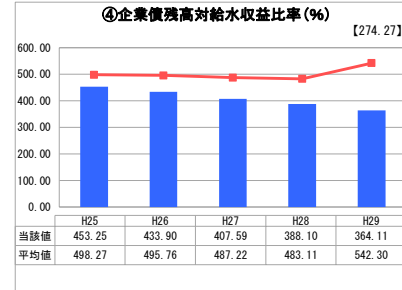
「経常損益」



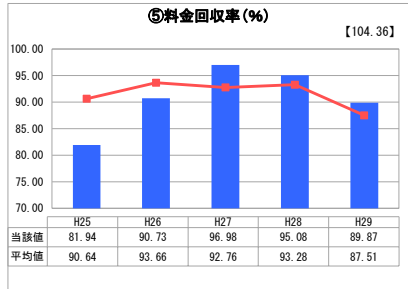
「累積欠損」



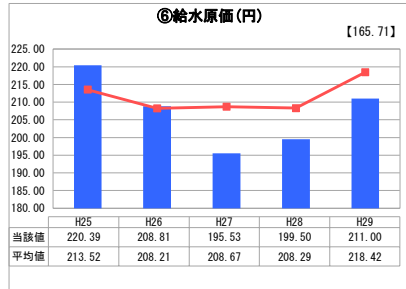
「支払能力」



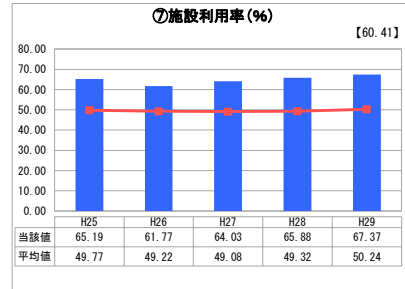
「債務残高」



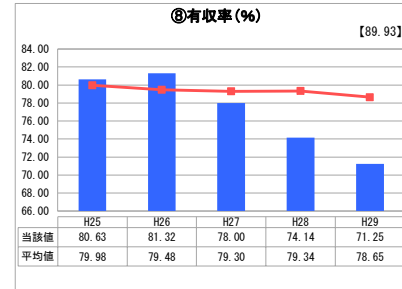
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

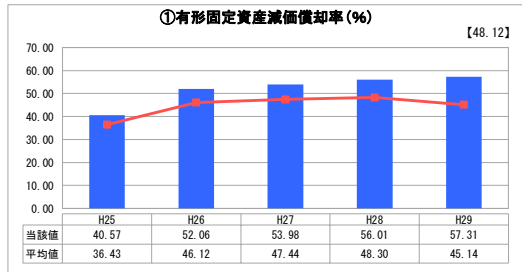


「施設の効率性」

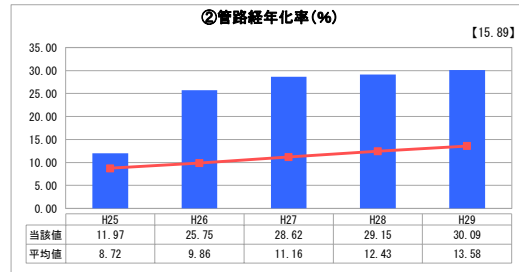


「供給した配水量の効率性」

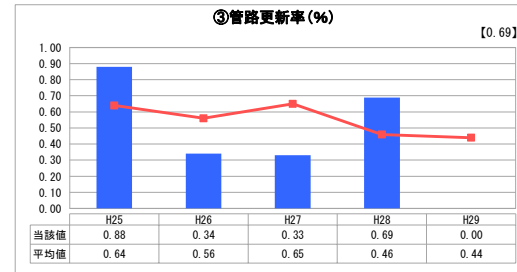
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は昨年度よりも悪くなった。また、全国平均よりも低い数値となっている。給水収益の減少と維持管理費の増加が悪化の原因となっている。流動比率は昨年度より減少し、ほぼ全国平均と同様の数値となっている。企業債残高対給水収益比率は企業債の借入を行っていないため、年々減少しているが、今後、拡張事業や管路更新のための新たな借入が必要となるため、計画的な借入を行っていく必要がある。料金回収率は100%を下回り、昨年度よりも悪くなっている。これは、必要な費用を料金収入で賄うことが出来ていないこと示している。今後も施設の老朽化により、維持管理費が増加すると思われる。計画的な施設更新を行い、維持管理の増加の削減に努めていきたい。また、今後は料金改定の検討を行っていく必要がある。給水原価は昨年度より増加しており、維持管理費の増加が原因と考えられる。施設利用率は昨年度より良くなり、また、類似団体よりも高いので施設の効率的な運用はできているので、この水準を維持していきたい。有収率は昨年度より悪くなっている。管路の老朽化による漏水が原因のため、計画的な管路更新を進める必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率と管路経年率は年々増加しており、更新が必要な施設、管路が増加している。類似団体と比較しても有形固定資産減価償却率、管路経年率とも高く、類似団体より、施設の老朽化が進んでおり、特に管路の老朽化が進んでいる。平成29年度は、第4次拡張の水源整備を行ったため、管路の更新が出来なかった。今後も第4次拡張事業の水源整備を進める必要があるため、管路更新と併せて計画的に施設更新を行う必要がある。

全体総括

今年度も昨年度に引き続き経常収支が赤字となった。給水収益の減少と維持管理費の増加によるものである。今後も給水収益の減少、施設の老朽化による維持管理費の増加により収支の悪化が見込まれる。さらに第4次拡張事業の施設整備も進める必要があるため、さらに費用の増加が見込まれる。水道事業の安定経営に向けて、経営戦略に基づき、計画的な施設更新を行い、安定経営に努めたい。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の実績数を基に類似団体平均値を算出しています。